

小山 さくら KOYAMA Sakura

専門分野	地域研究、イラストレーション	
学位	学士（造形）	2019年3月取得
	武蔵野美術大学 造形学部 デザイン情報学科 卒業	
着任年月日	2021年4月1日	
教育理念・方法	<p>・自身の教育理念、価値観</p> <p>大学の教育理念の中にある「美術を技術的専門性だけではなく、総合的な人間形成をもって成るものと考えた」という言葉において、クリエイティブイノベーション学科（以下CI学科）は実現するところに近い場所にいるのではないかと考える。基礎課程（1・2年次）で学んだ造形経験を、専門課程（3・4年次）での、課題、問題解決につなげられるよう、指導に携わっていききたい。</p> <p>また、学内だけに終わらず社会との繋がりを持ち、互いに影響し合う場を作っていきたい。</p>	
2022年度研究成果	2022年度助教助手展作品発表（2022.12.5～12.24）「へいへいぼんぼん」／イラストレーション	
2023年度教育・研究目標	<p>●自身の教育・研究に関する具体的な課題、改善計画</p> <p>近年技術が発達し個々の選択の余地が増え、「豊かさ」に対して多様な考え方が生まれたように思う。しかし豊かとは一体なんだろうか。本当の豊かさについて疑問を思った。その疑問はデンマーク語の「ヒュッゲ」から始まる。このヒュッゲに習い、日本のヒュッゲの探究から、それぞれが思う本当の豊かさとは何かを追求し、新しいUXデザインへと落とし込んでいきたいと考える。</p> <p>●短期／長期目標</p> <p>短期目標／日本ヒュッゲの仮説</p> <p>長期目標／本質的豊かさにおける、新しいUXデザインへの展開</p>	